

新着図書からおすすめの5冊



毎週火曜日は、新着図書の配架日です。本日は、12月11日（火曜日）の新着図書の中からおすすめの本を紹介します。インターネット予約・貸出は、12月18日（火曜日）からです。

『子ども文庫の100年』

高橋 樹一郎／著、みすず書房／刊、請求記号：016.2/Ta,33

内容：子どものための私設図書室、「子ども文庫」は、石井桃子の本をきっかけとして全国各地に広がり、やがて図書館づくり運動、親子読書運動などにつながっていく。文庫の実態を全国を廻って調べ、その全体像を示す。

著者紹介：1969年生まれ。マクギル大学大学院図書館情報学科修士課程修了。奈良県天理市立図書館館長補佐。

『研修デザインハンドブック』

中村 文子 ほか／著、日本能率協会マネジメントセンター／刊、請求記号：336.4/N,37

内容：どんなテーマの研修にも活用できる、脳科学や心理学をベースにした理論を解説。参加者主体の研修で学習効果を飛躍的に高める研修デザインを、8つのステップにわけて紹介する。実践例も収録。

著者紹介：ダイナミックヒューマンキャピタル株式会社代表取締役。ボブ・パイク・グループ認定マスタートレーナー。

『町自慢、マンホール蓋700枚。』

池上 修／著、論創社／刊、請求記号：518.2/I,33

内容：世界に例のない日本のサブカルチャー、マンホールデザイン。メッセージが明快でデザインが素晴らしい、100枚のマンホールとその仲間たち全700枚を、オールカラー写真で紹介する。

著者紹介：福井県出身。著書に「デザインマンホール100選」がある。

『照明家(あかりや)人生』

吉井 澄雄／著、早川書房／刊、請求記号：771.5/Y,88

内容：劇団四季の創立に参加し、浅利慶太、蜷川幸雄らと共に演劇界を革新した照明デザインの第一人者・吉井澄雄の回顧録。戦後の舞台芸術史と幾度も交差する「照明家(あかりや)人生」をつづる。

著者紹介：1933年東京生まれ。劇団四季の創立に参加。演劇、オペラ、舞踊と幅広い分野で

照明デザインの第一人者として活躍。紫綬褒章、読売演劇大賞芸術栄誉賞、他受賞多数。日本照明家協会名誉会長。

『太宰治の絶望語録』

太宰 治／著、WAVE出版／刊、請求記号：910.2/D,49

内容：おまえは、もう青春を失ったのだ-。太宰治の長編・戯曲、短編・随筆、散文・評論から、「作家と仕事」「生と死」「人間と生活」「幸福と苦悩」「女と男」をテーマにした絶望語録を選び紹介する。

佐賀県立図書館 〒840-0041 佐賀県佐賀市城内二丁目1-41

Tel 0952-24-2900 Fax 0952-25-7049 E-mail saga-kentosyo@pref.saga.lg.jp